

分析報告書

株式会社 シーアールシー 食品環境衛生研究所

〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29番18号

表題 黒い毛状異物の分析		担当 榎 富
<p>1. 目的 黒い毛状異物について、分析調査する。</p>		
<p>2. 試料</p> <p>2-1 試料数 1試料</p> <p>2-2 試料名 毛状異物</p>		
<p>3. 内容及び結果</p> <p>3-1 外観観察 「毛状異物」は黒色で、長さ約 5.2 cm である。</p> <p>3-2 スンプ法による表面構造の観察 「毛状異物」および「ヒトの頭毛」の表面構造を写真-1、2に示す。「毛状異物」と「ヒトの頭毛」では小皮紋理の形状が異なっている。</p> <p>3-3 髓質の観察 脱色処理した「毛状異物」および「ヒトの頭毛」の髓質の形態を写真-3、4に示す。毛髪の中央にある髓質が、「毛状異物」は「ヒトの頭毛」と比較して太くなっている。</p>		
<p>4. コメント 黒い毛状異物は、表面構造および髓質の形態の比較から、人毛ではなく＜動物毛＞と推定される。</p>		
<p>5. 使用分析機器 透過型顕微鏡(オリンパス製)</p>		
報告書 No.	070921112	

試料の表面構造

(×200)

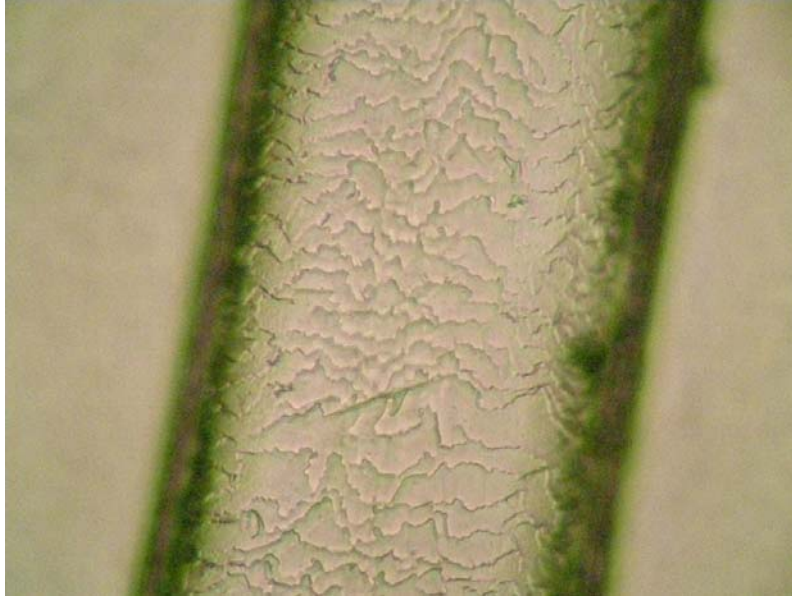


写真-1 「毛状異物」

(×200)

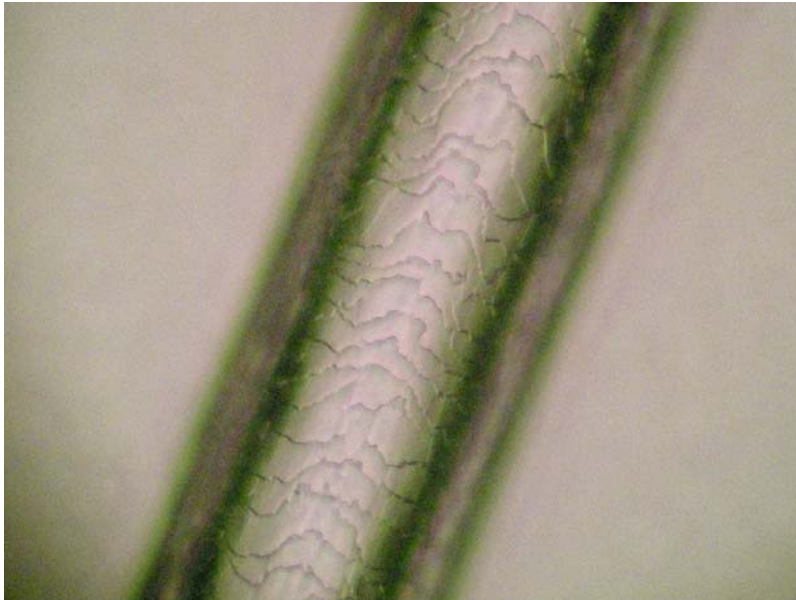


写真-2 「ヒトの頭毛」

試料の髄質の形態

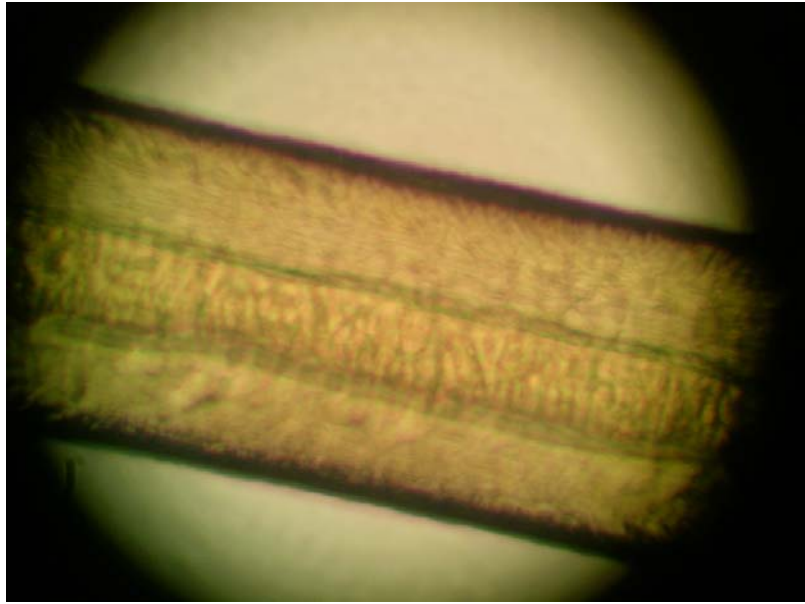


写真-3 「毛状異物」



写真-4 「ヒトの頭毛」

見本食品株式会社 御中

分析報告書

シーアールシー食品環境衛生研究所
〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29番18号

表題 青さ入りえび天ぷら変色部の分析		担当 梶 富
1. 目的 青さ入り天ぷらの変色部について、分析調査する。		
2. 試料 2-1 試料数 1試料 2-2 試料名 天ぷら変色部		
3. 内容及び結果 3-1 外観観察 「天ぷら変色部」の外観写真を写真-1(A)に、拡大写真を写真-1(B)に示す。「天ぷら変色部」および「青さ」の透過型顕微鏡像(400倍)を写真-2および3に示す。透過型顕微鏡像では、「天ぷら変色部」は「青さ」とは異なっている。 3-2 元素分析 元素組成の定量分析結果から、「天ぷら変色部」の検出元素および主成分を表-1に、元素組成(%)を表-2に示す。「天ぷら変色部」からは、重金属である鉄(Fe)、クロム(Cr)、ニッケル(Ni)および銅(Cu)が検出された。鉄、クロムおよびニッケルは、ステンレス鋼の成分元素と推定される。		
表-1		
試料	検出元素	主成分
天ぷら変色部	C、Fe、Cr、O、Ni、Cl、Cu、K、N、P、S、Na、Ca	C、Fe
4. コメント 上記結果から、青さ入り天ぷらの変色部には、<ステンレス鋼および銅の破片>が含まれていると推定される。		
5. 使用分析機器 電子線マイクロアナライザ[EPMA-8705](SHIMADZU 製)		
報告書 No.	071016173	

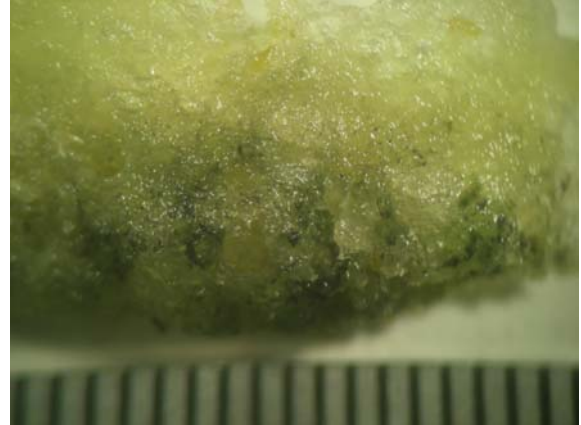
試料の外観観察

(A) 外観写真



(1 目盛 0.5 mm)

(B) 拡大写真



(1 目盛 0.5 mm)

写真-1 「天ぷら変色部」

試料の透過型顕微鏡像

(×400)

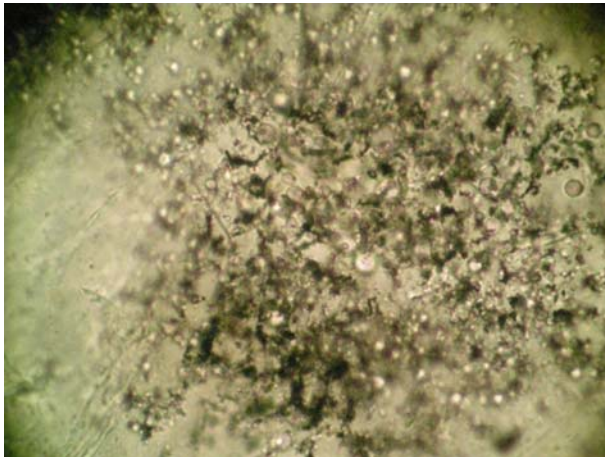


写真-2 「天ぷら変色部」

(×400)

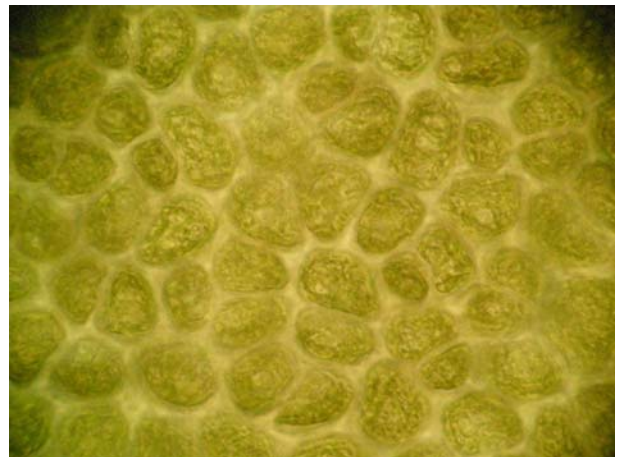


写真-3 「青さ」


試料の元素組成

元素名	%
C	41.6
Fe	26.1
Cr	7.6
O	7.2
Ni	4.1
Cl	4.1
Cu	3.9
K	1.8
N	1.4
P	0.8
S	0.5
Na	0.5
Ca	0.3

表-2 「天ぶら変色部」

見本食品株式会社 御中

分析報告書

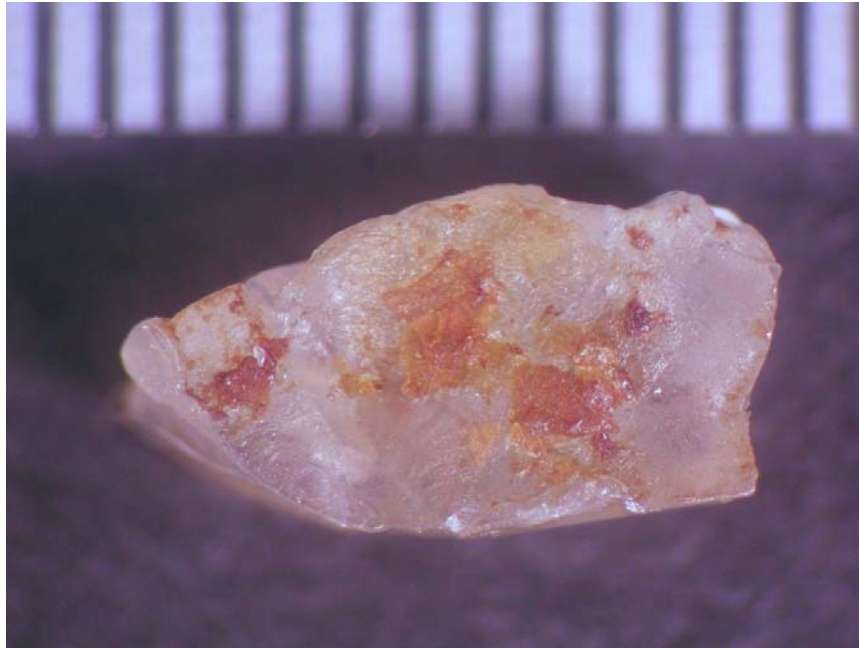

 株式会社シーアールシー食品環境衛生研究所

〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29番18号

表題 商品混入異物の分析		担当 榎 富
<p>1. 目的 商品(肉)の混入異物について、分析調査する。</p>		
<p>2. 試料</p> <p>2-1 試料数 1 試料</p> <p>2-2 試料名 混入異物</p>		
<p>3. 内容及び結果</p> <p>3-1 外観観察 「混入異物」の外観写真を写真-1に示す。</p> <p>3-2 赤外吸収スペクトル測定 「混入異物」の赤外吸収スペクトルをデータベース検索した結果、スペクトルパターンが類似する物質として「ポリスチレン」が該当した。「混入異物」および「ポリスチレン」の赤外吸収スペクトルパターンの比較図を図-1に示す。</p> <p>3-3 燃焼試験 「混入異物」は燃えやすく、燃焼臭気はスチレン特有の刺激臭がした。</p>		
<p>4. コメント 上記結果から、商品(肉)の混入異物の主成分は、＜ポリスチレン＞と推定される。</p>		
<p>5. 使用分析機器 赤外分光光度計[FTIR-8600PC](SHIMADZU 製)</p>		
報告書 No.	07091062	

試料の顕微鏡写真

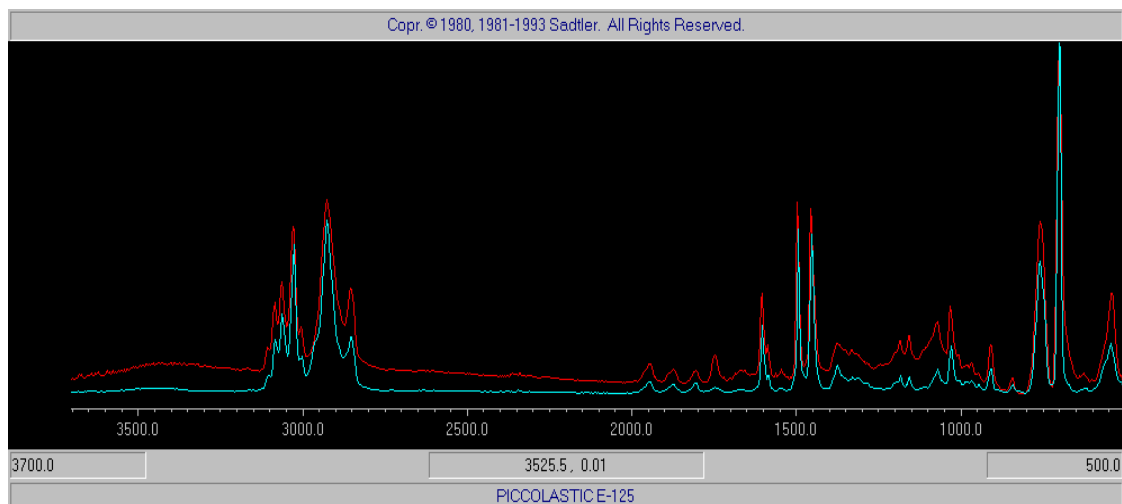
(×22)



(1目盛 0.5 mm)

写真-1 「混入異物」

赤外吸収スペクトル



— 混入異物
— ポリスチレン

図-1 「混入異物」および「ポリスチレン」の比較図